



## 平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター

コード番号 2410 URL <http://type.jp/ir>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 西山裕

TEL 03-3560-1601

四半期報告書提出予定日 平成25年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,423	30.8	256	52.4	259	52.0	211	25.0
24年9月期第2四半期	1,853	40.6	168	134.9	170	134.4	168	208.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	3,087.90	—
24年9月期第2四半期	2,469.80	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,359		1,401			57.8
24年9月期	2,020		1,270			62.1

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 1,363百万円 24年9月期 1,255百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	2,500.00	2,500.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期期末配当の内訳 普通配当1,600円00銭 記念配当900円00銭

### 3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,841	21.4	453	27.2	457	26.9	407	14.2	5,955.34

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	70,544 株	24年9月期	70,544 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	2,202 株	24年9月期	2,202 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	68,342 株	24年9月期2Q	68,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ「1. (3)業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 当期の配当予想値は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年10月1日～平成25年3月31日)における我が国経済は、世界景気の減速や長期化する円高の影響が根強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかしながら、企業業績の回復に伴い企業の採用意欲は活発化しており、雇用情勢においては、平成25年3月の有効求人倍率が0.86倍と緩やかな回復傾向を示しております。

このような状況において、当社は、強みである「エンジニア」マーケットを中心に売上高が増加いたしました。事業の種類別では、キャリア情報事業及び人材紹介事業が計画通りに推移し、事業開始から3年目を迎えるIT派遣事業が計画を上回る推移を示しております。支出面におきましては、第1四半期における本社の増床及び横浜オフィスの開設に伴い、一時的ではあるもののコストが増加いたしました。全社的にコスト管理を徹底し利益改善に努めました。

これにより、当社は、平成25年3月19日に第2四半期累計期間業績予想(売上高2,365百万円、経常利益220百万円)を公表いたしました。売上高の増加及びさらなるコスト改善の実現により、売上高は前回発表予想を2.5%上回る2,423,558千円となりました。また、経常利益におきましても、前回発表予想から18.1%増の259,760千円となり、対前年同四半期比152.0%を実現いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、2,423,558千円(前年同四半期比130.8%)、損益面におきましては、経常利益は259,760千円(前年同四半期比152.0%)、四半期純利益は211,033千円(前年同四半期比125.0%)となりました。

## 〈四半期毎の業績〉

		平成25年9月期	
		第1四半期 会計期間	第2四半期 会計期間
売上高 (千円)		1,165,335	1,258,223
	キャリア情報事業売上高 (千円)	712,824	783,367
	人材紹介事業売上高 (千円)	208,728	230,170
	IT派遣事業売上高 (千円)	243,782	244,685
営業利益 (千円)		61,492	195,392
経常利益 (千円)		63,617	196,142
四半期純利益 (千円)		38,857	172,176

## 〈事業の種類別の業績〉

当社は人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

## ①キャリア情報事業

当社キャリア情報事業は、Web求人広告・適職フェア・情報誌等の商品・サービスを運営しております。

当第2四半期累計期間におきましては、マーケットシェアの拡大を図ったことにより、取引社数が対前年同四半期比144%を実現し、売上高が増加いたしました。マーケット別では、強みとする「エンジニア」マーケットにおいて対前年同四半期比129%、「女性」マーケットにおいては対前年同四半期比142%と顕著な伸びを実現、「営業」マーケットにおいて対前年同四半期比118%の結果となりました。また、1月より営業活動を開始いたしました横浜オフィスにおきましては、計画通りの売上高を実現しております。

1月に開催いたしましたエンジニア適職フェアにおきましては、求人企業からの要望が強く、出展企業数を従来の80ブースから120ブースへ拡大しての開催となり、来場者数は1,400名を超える結果となりました。

商品面におきましては、スマートフォン版の機能改善によるユーザビリティ向上やWebマガジン『エンジニアtype』と『Yahoo!ニュース』の提携による認知度向上など商品力強化を図り、『@type』は年間の平均月間ユニークユーザー数150万人を超えるサイトへと成長し、売上高増加を後押ししております。

以上の結果、当第2四半期累計期間におけるキャリア情報事業の売上高は、1,496,192千円(前年同四半期比125.3%)となりました。

## ②人材紹介事業

当社人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介します登録型人材紹介を運営しております。

当第2四半期累計期間におきましては、IT業界を中心に成約件数が増加し、単価も堅調に推移したことで売上高は増加いたしました。また、新規案件獲得及び登録者獲得も堅調に推移し、売上高増加に貢献しております。さらに、自社メディア『@type』『女の転職@type』と人材紹介サービスを組み合わせた提案により、大手企業との取引社数が拡大しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における人材紹介事業の売上高は、438,898千円（前年同四半期比110.5%）となりました。

## ③IT派遣事業

当社IT派遣事業は、当社にご登録頂いた登録者の方の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。

当第2四半期累計期間におきましては、強みとする「エンジニア」マーケットを中心に、派遣スタッフの稼働人数が増加し、時給の上昇傾向も見られたことから、売上高が大幅に増加いたしました。また、事業開始当初から取り組んでおります営業力の強化により、大口案件での取引が徐々に増加しており、安定した伸び率の実現に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間におけるIT派遣事業の売上高は、488,467千円（前年同四半期比186.4%）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産

当第2四半期会計期間末の総資産は2,359,656千円となり、前事業年度末に比べ339,399千円増加いたしました。

流動資産は1,907,360千円となり、前事業年度末に比べ227,454千円増加いたしました。主な要因につきましては、現金及び預金が163,196千円、受取手形及び売掛金が71,188千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は452,295千円となり、前事業年度末に比べ111,944千円増加いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が91,295千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は958,432千円となり、前事業年度末に比べ208,825千円増加いたしました。主な要因につきましては、流動負債における1年内返済予定の長期借入金が39,200千円減少し、固定負債における長期借入金が232,400千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は1,401,224千円となり、前事業年度末に比べ130,573千円増加いたしました。これは、四半期純利益を211,033千円、剰余金の配当を102,513千円、新株予約権を22,053千円計上したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ163,196千円増加し、1,181,095千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動の結果得られた資金は、256,813千円（前年同四半期比10,011千円の収入の増加）でありました。これは、税引前四半期純利益を236,217千円計上し、減価償却費が54,817千円、固定資産除却損が23,542千円、売上債権の増加が71,160千円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動の結果使用した資金は、184,715千円（前年同四半期比140,630千円の支出増）でありました。これは、有形固定資産の取得による支出が117,566千円、無形固定資産の取得による支出が51,400千円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動の結果得られた資金は、91,097千円（前年同四半期は37,967千円の支出）でありました。これは、長期借入れによる収入が300,000千円、長期借入金の返済による支出が106,800千円、配当金の支払額が101,061千円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の業績予想につきましては、平成24年11月12日に公表いたしました通期業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,117,899	1,281,095
受取手形及び売掛金	509,188	580,376
その他	55,412	48,848
貸倒引当金	△2,594	△2,960
流動資産合計	1,679,906	1,907,360
固定資産		
有形固定資産	62,962	154,257
無形固定資産		
ソフトウェア	155,084	162,588
その他	16,656	15,703
無形固定資産合計	171,741	178,292
投資その他の資産	105,646	119,745
固定資産合計	340,350	452,295
資産合計	2,020,257	2,359,656
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,922	10,153
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	60,800
未払金	186,502	179,177
未払法人税等	9,963	30,842
賞与引当金	57,460	60,033
株主優待引当金	—	6,000
その他	299,767	289,317
流動負債合計	694,617	666,324
固定負債		
長期借入金	—	232,400
退職給付引当金	48,220	53,980
その他	6,768	5,727
固定負債合計	54,988	292,107
負債合計	749,606	958,432
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	453,027	561,547
自己株式	△95,598	△95,598
株主資本合計	1,255,387	1,363,907
新株予約権	15,263	37,316
純資産合計	1,270,650	1,401,224
負債純資産合計	2,020,257	2,359,656

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,853,153	2,423,558
売上原価	519,247	762,204
売上総利益	1,333,905	1,661,354
販売費及び一般管理費	1,165,337	1,404,468
営業利益	168,568	256,885
営業外収益		
受取利息	88	110
解約手数料	3,015	4,750
その他	861	204
営業外収益合計	3,964	5,065
営業外費用		
支払利息	1,634	1,846
その他	—	343
営業外費用合計	1,634	2,190
経常利益	170,897	259,760
特別損失		
固定資産除却損	486	23,542
特別損失合計	486	23,542
税引前四半期純利益	170,411	236,217
法人税、住民税及び事業税	1,620	25,184
法人税等合計	1,620	25,184
四半期純利益	168,791	211,033



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	170,411	236,217
減価償却費	55,188	54,817
株式報酬費用	—	22,053
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,873	343
賞与引当金の増減額(△は減少)	130	2,573
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,076	5,760
受取利息	△88	△110
支払利息	1,634	1,846
固定資産除却損	486	23,542
売上債権の増減額(△は増加)	△77,491	△71,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,104	4,673
仕入債務の増減額(△は減少)	2,557	△768
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,113	△19,185
未払金の増減額(△は減少)	60,359	△14,564
前払費用の増減額(△は増加)	1,574	200
その他	56,659	15,575
小計	252,363	261,815
利息及び配当金の受取額	73	100
利息の支払額	△1,633	△1,887
法人税等の支払額	△4,002	△3,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,801	256,813
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△360	△117,566
無形固定資産の取得による支出	△27,336	△51,400
敷金及び保証金の差入による支出	△14,696	△14,055
その他	△1,692	△1,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,085	△184,715
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	—
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	—	△106,800
配当金の支払額	△67,446	△101,061
その他	△520	△1,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,967	91,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	164,749	163,196
現金及び現金同等物の期首残高	704,286	1,017,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	869,036	1,181,095

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。